

焼津市スポーツ推進計画

エンジョイ
スポーツ
大作戦!!

ひろげよう スポーツの輪

～ いっしょに走るらぁ～

焼 津 市

はじめに



スポーツは、私たちに夢や感動を与えてくれ、健康的な体づくりとともに人格形成や生きる活力にもつながるものであります。しかし、今日の社会情勢の変化により、少子高齢化、国際化、情報化が進む中で、スポーツを取り巻く環境も大きく変化しています。

本市では昭和 53 年の「スポーツ都市宣言」以来、スポーツ施設の充実やスポーツ参加機会の創出に努めてまいりましたが、少子高齢化や人口減少等の影響を受け、地域スポーツに参加する人も減少傾向にあります。一方で、スポーツの多様化やプロスポーツの充実、日本代表選手や焼津出身選手等の活躍により、スポーツに係る機会が増えていることも伺えます。

このような中、国では平成 23 年に「スポーツ基本法」を制定し、これを受けて翌平成 24 年には「スポーツ基本計画」が策定され、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針が示されたことにより、今後は、多くの地方自治体においても、住民の皆様を主役としたスポーツの推進が図られることとなります。

本市では、平成 30 年度からスタートした「第 6 次焼津市総合計画」では焼津未来共創プラン 2018 として「スポーツの振興」を掲げており、多くの市民が様々な方法でスポーツを楽しむことを目標としております。これを確実に実現していくためのスポーツ全般に関する計画として、ここに「焼津市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

この「焼津市スポーツ推進計画」は、「第 6 次焼津市総合計画」をもとに、本市におけるスポーツの現状や課題から、今後の基本的な活動方針を具体的に示したものであり、焼津市のスポーツ活動が新たな時代に向けて、地域社会の大きな力になることと思います。

これからは、行政はもとより地域や学校、スポーツ競技団体が協力し、市民の皆様がスポーツを楽しみながら、健康で活力ある生活が送れるよう、より一層スポーツの推進に努めていきたいと考えます。

平成 31 年 3 月 焼津市長 中野弘道

目 次

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の性格	1
3 計画の期間	1

第2章 現状と課題

1 市民のスポーツ活動	2
2 世代別スポーツ活動	4
2-1 幼児	
2-2 小学生・中学生	
2-3 成人・高齢者	
2-4 障害者	
3 スポーツ環境と施設	8
3-1 「競技スポーツ施設」としての環境充実	
3-2 「市民スポーツ施設」の環境整備	
3-3 「地域スポーツ施設」の充実	
3-4 老朽化施設の計画的整備	
3-5 スポーツ施設の情報発信・システム化	
4 スポーツを通じた交流	11
4-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 事前キャンプ地としての交流	
4-2 スポーツ姉妹都市との交流	
4-3 日本代表クラス強化合宿による交流	
4-4 焼津市ゆかりのトップアスリートとの交流	
5 スポーツイベントの開催及び情報発信	15
5-1 市民参加型スポーツイベントの開催	
5-2 全国レベルの大会などの招致・情報発信	
5-3 焼津市ゆかりのトップアスリートの情報発信	
5-4 アスリートの養成・指導者の人材育成	

第3章 基本理念・目標値

- 1 基本理念 19
- 2 目標値 19

第4章 基本方針・基本事業

- 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 20
 - 1-1 スポーツ教室・スポーツクラブの実施
 - 1-2 学校体育、運動部活動の充実
 - 1-3 地域体育組織の活動促進
 - 1-4 気軽に参加できるスポーツイベントの開催
- 2 市民満足度の高いスポーツ施設の提供 25
 - 2-1 利用ニーズに応じた機能的な施設配置
 - 2-2 スポーツ施設の計画的整備
 - 2-3 利用サービスの向上と効率的な管理
- 3 夢を育み、スポーツ交流で賑わうまちの創出 29
 - 3-1 ホストタウン相手国代表選手強化合宿の受入れ
 - 3-2 日本代表クラスの強化合宿・大会の受入れ
 - 3-3 プロスポーツの支援、国際大会等の招致
 - 3-4 青少年による国際スポーツ交流
- 4 競技力向上を目指したスポーツ活動の支援 32
 - 4-1 指導者の育成体制の充実
 - 4-2 体育協会、スポーツ少年団の活動支援と連携
 - 4-3 トップアスリート顕彰
 - 4-4 スポーツ情報の充実

第5章 計画の進行管理

- PDCA サイクルによる進行管理 35

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市では、昭和53年の「スポーツ都市宣言」以来、より多くの市民がスポーツに親しむことができる機会と環境づくりを積極的に進めてきたところです。

また、近年、少子高齢社会の進展や健康志向の高まりから、スポーツを通じた健康づくりへの関心が高まっていると同時に、生きがいに満ちた暮らしの実現や、活力ある地域の創出に寄与するものとして注目されています。

更に、2019年ラグビーワールドカップ日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、市民のスポーツへの関心も大きく、今後、スポーツを通じて国内外との交流がより一層拡大していくと予想されます。

このような中、国においては平成23年6月に「スポーツ基本法」を施行し、同法の中でスポーツに関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務が規定されました。これを受け、文部科学省では、平成24年3月に「スポーツ基本計画」を策定、静岡県においても、平成26年7月に「静岡県スポーツ推進計画」を定めました。

本市においては、平成30年度を初年度とする「第6次焼津市総合計画」を策定し、将来都市像である「やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい世界へ広げる 水産文化都市 Y A I Z U」を実現するための政策の一つに「産業の発展と交流でにぎわうまちづくり」を定め、その政策の重要な施策として、「スポーツ振興」が位置づけられています。

このようなことから、スポーツが持つ社会的な価値をまちづくりに活かし、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しみ、健康で豊かに暮らし、多くの人々が訪れる魅力あふれるまちの実現に向け、スポーツに関する基本方針や取り組みを示すスポーツ推進計画を策定します。

2 計画の性格

- (1)本計画は、スポーツ基本法第10条に基づき、スポーツを総合的かつ計画的に推進するため、国及び県の計画と整合を図り策定したものです。
- (2)本計画は、「第6次焼津市総合計画」及び「焼津市教育大綱」を踏まえ、策定したものです。
- (3)本計画は、スポーツ関係団体、地域、家庭及び焼津市など、社会全体でスポーツ推進に取り組む方向性を示したものです。

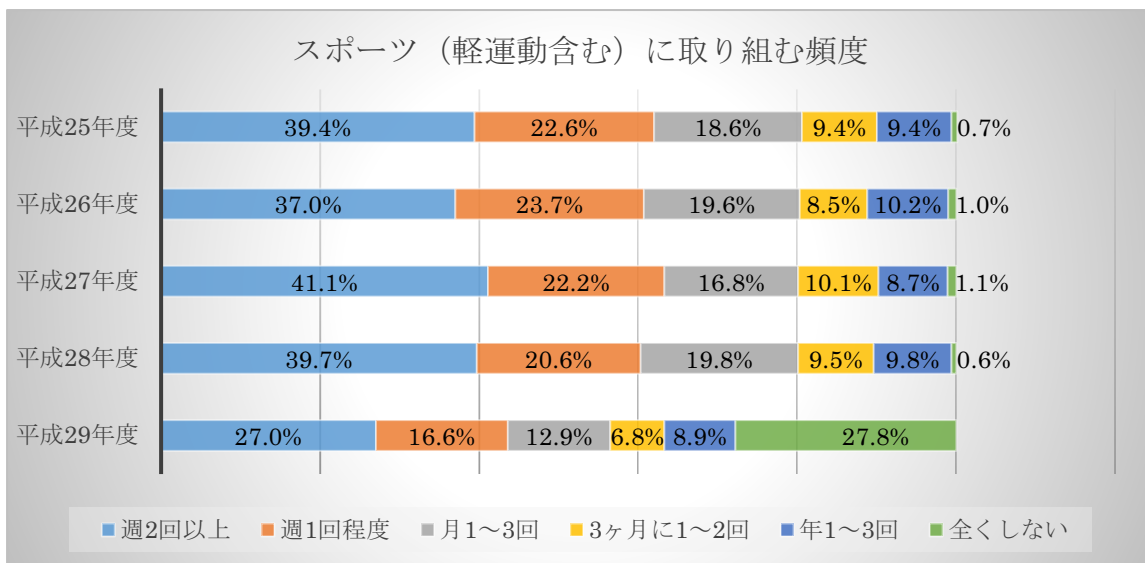
3 計画の期間

本計画の計画期間は、平成31年度から10年間とします。

第2章 現状と課題

1 市民のスポーツ活動

過去5年間における「総合計画に関する市民意識調査（市民アンケート）」の“市民がスポーツ（軽運動を含む）に取り組む頻度”では、概ね半数以上の方が週1回以上スポーツをしていましたが、平成27年度を境に、週1回以上スポーツをしていた人の割合が減少傾向にあり、平成29年度においては44%程度まで減少しています。

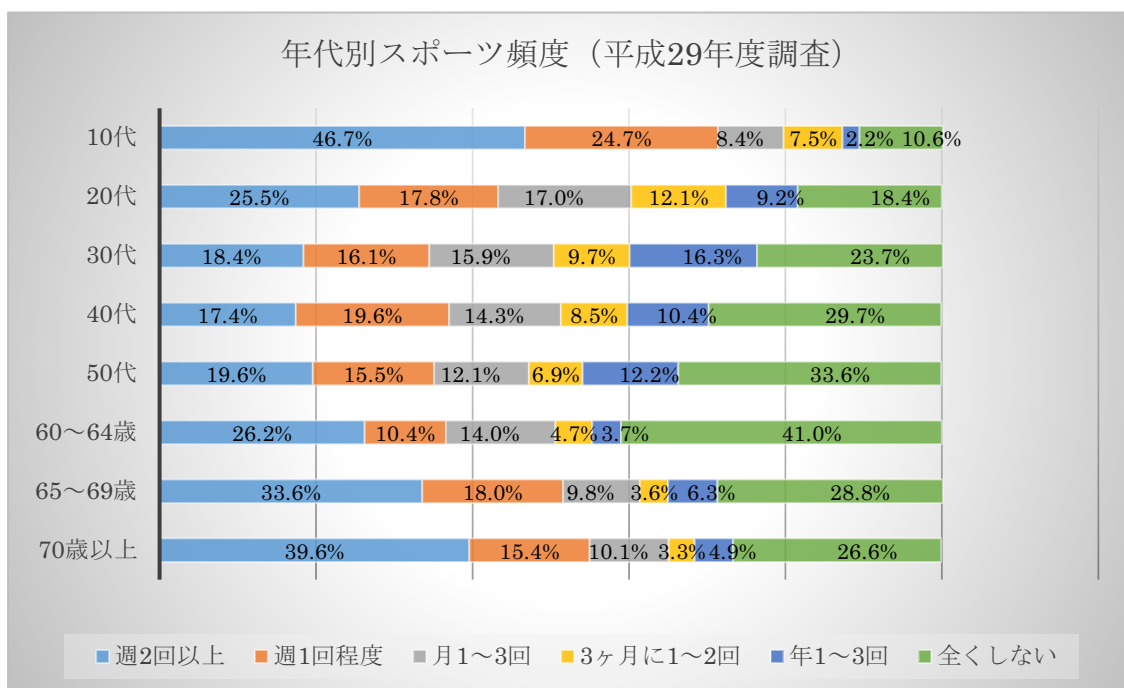


単位：パーセント

	週に 2回以上	週に 1回程度	月に 1～3回	3ヶ月に 1～2回	年に 1～3回	全くしない
平成25年度	39.4	22.6	18.6	9.4	9.4	0.7
平成26年度	37.0	23.7	19.6	8.5	10.2	1.0
平成27年度	41.1	22.2	16.8	10.1	8.7	1.1
平成28年度	39.7	20.6	19.8	9.5	9.8	0.6
平成29年度	27.0	16.6	12.9	6.8	8.9	27.8

～第2章 現状と課題～

また、年代別では30代から60代前半の年齢層において、週1回以上スポーツに取り組んだ割合が4割程度にとどまっています。



スポーツをしなかった理由としては、時間的、金銭的な理由に加え、「始めるきっかけがない」が主なものとなっており、気軽にスポーツを始められる「きっかけづくり」が課題となっています。

○平成29年度市民アンケート結果（スポーツをしなかった理由）

単位：パーセント

理由	仕事、家事などが忙しい	病気など身体的な理由	する必要がない	指導者がいない	場所や施設がない	お金がかかる	誘う仲間がない	付き合いが面倒	始めるきっかけがない	参加できる催しものがない	スポーツに関する情報がない	スポーツが嫌い、苦手	生活時間と合わない	その他・無回答
年齢														
全体	42.0	22.8	4.4	1.3	2.5	17.5	8.1	11.0	21.3	5.5	2.6	14.4	8.2	5.0
10代	-	-	29.1	-	-	-	20.9	-	41.7	-	-	29.1	-	-
20代	58.5	15.3	17.0	-	-	21.6	4.5	4.5	23.3	-	-	6.2	-	-
30代	60.9	6.4	4.7	2.6	4.3	27.9	15.4	9.9	38.2	4.3	2.1	11.6	11.2	-
40代	52.1	9.0	1.9	3.0	4.1	23.2	9.4	15.2	25.3	4.0	7.5	14.8	6.2	3.4
50代	60.7	10.4	2.7	0.8	2.9	21.0	4.8	10.9	22.7	4.4	1.0	17.1	11.0	2.9
60～64歳	36.9	22.1	4.4	-	1.2	17.3	7.6	11.2	16.1	6.4	1.6	13.3	12.0	9.2
65～69歳	30.1	28.6	3.9	1.3	1.3	12.4	12.7	11.1	24.0	8.6	3.8	17.5	11.2	4.8
70代	12.2	54.0	2.6	0.9	1.9	6.3	4.9	10.3	7.9	8.4	1.0	14.7	5.8	10.6

2 世代別スポーツ活動

2-1 幼児

幼稚園や保育園などでの運動のほか、本市では幼児を対象とした体操教室を開催することで、「運動の楽しさ」を感じてもらい、今後の「運動をする」きっかけづくりに努めています。

平成29年度における、体操教室（幼児体操・親子体操）参加者数は合計452人で、対象年齢2歳から5歳までの幼児のうち、約10%が運動を楽しんでいます。

幼児期は、運動を始める有効な時期でもあるため、多種多様なきっかけづくりを進めていくことが重要となります。また、保護者と子どもと一緒に体を動かすことを楽しむことで、子育て世代へもスポーツに取り組むきっかけとなるよう、啓発や意識づけが必要となってきます。

2-2 小学生・中学生

「運動が好きな子どもの育成につながる体育活動の充実」を図るため、小学校では体を動かす楽しさを感じさせること、中学校では様々な運動に触れる機会を充実させることで「自ら進んで運動する子」を育てています。

平成29年度における、小学5年生から中学3年までの「新体力テスト」の結果では、総合評価の上位（A～C）の割合が、小学生は静岡県全体のレベルを下回っており、中学生は、静岡県全体レベルとほぼ同じレベルにあります。

○平成29年度新体力テスト結果（小学5年生～中学3年生）

単位：パーセント

焼津市欄の下段：（平成25年度実績）

小学校	市・県	A	B	C	D	E	総合評価 ABC
5年男子	焼津市	9.4 (14.8)	24.3 (28.0)	36.7 (37.6)	21.3 (15.3)	8.3 (4.2)	70.4 (80.5)
	静岡県	15.2	27.7	33.1	17.8	6.2	76.0
5年女子	焼津市	11.7 (19.1)	32.1 (25.5)	35.3 (34.6)	16.0 (16.8)	4.9 (4.1)	79.1 (79.1)
	静岡県	21.6	31.6	30.8	12.6	3.3	84.1
6年男子	焼津市	7.8 (12.5)	26.0 (35.3)	34.8 (29.8)	23.6 (15.5)	7.8 (6.9)	68.6 (77.7)
	静岡県	13.9	33.1	30.3	17.6	5.2	77.2
6年女子	焼津市	10.8 (10.0)	32.4 (34.0)	28.6 (31.8)	22.4 (20.5)	5.7 (3.7)	71.9 (75.8)
	静岡県	16.7	36.4	30.8	13.6	2.6	83.8

～第2章 現状と課題～

中学校	市・県	A	B	C	D	E	総合評価 ABC
1年男子	焼津市	4.5 (4.4)	28.3 (25.8)	40.4 (35.2)	20.3 (26.1)	6.6 (8.5)	73.2 (65.4)
	静岡県	7.4	28.6	37.7	21.4	4.9	73.7
1年女子	焼津市	40.5 (31.0)	34.4 (40.9)	20.8 (21.9)	3.7 (5.8)	0.5 (0.4)	95.8 (93.8)
	静岡県	43.7	34.8	16.9	4.0	0.5	95.5
2年男子	焼津市	17.9 (10.7)	34.0 (28.0)	30.1 (36.8)	13.8 (19.8)	4.3 (4.7)	81.9 (75.5)
	静岡県	14.2	32.1	35.2	14.9	3.5	81.5
2年女子	焼津市	43.5 (28.3)	29.4 (31.0)	22.7 (27.2)	4.4 (12.3)	0.0 (1.2)	95.6 (86.5)
	静岡県	41.7	32.8	19.7	5.1	0.7	94.2
3年男子	焼津市	22.5 (24.8)	37.6 (34.4)	30.4 (28.7)	7.8 (9.3)	1.8 (2.8)	90.5 (87.9)
	静岡県	28.7	33.7	25.9	9.4	2.3	88.3
3年女子	焼津市	38.4 (32.9)	29.0 (28.7)	24.6 (29.4)	6.6 (7.8)	1.4 (1.2)	92.0 (91.0)
	静岡県	41.9	29.5	20.3	7.0	1.3	91.7

総合評価の上位（A～C）の割合では、各学年とも70%以上の児童・生徒が占めており、概ね良好な状態と言えますが、最上位ランクの「A」を男女別に比較した場合、女子のレベルのほうが高い傾向にあります。

幼児期からの影響や社会的背景も考えられますが、近年、「室内での遊び」が多く、外で遊ばない、活動しない傾向が見受けられます。屋外での遊びの楽しさを味わったり、スポーツに親しんだりする機会を増やしていく必要があります。

青少年の健全育成、及び心身を鍛えることを目的とした本市のスポーツ少年団は、平成29年度現在、59団体、1,291人の登録者数があります。少子化やクラブチームなどへの移行の影響を受け、登録者数が減少傾向にあります。

近年、スポーツ少年団加入のきっかけづくりとしての「合同体験会」や競技種目の枠を超えた団対抗戦の運動会「少年団大会」などを開催することで登録者数の拡大に繋がる取り組みを進めています。

○スポーツ少年団登録者数

単位：人

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
1,546	1,436	1,419	1,393	1,291

中学生については、学校での体育の授業はもちろん、部活動や特別活動など教育活動を通じて体力、競技力、スポーツ精神の向上が求められています。近年、少子化による部員数の減少に伴う校外活動への移行、また、教職員の多忙化、児童生徒

～第2章 現状と課題～

数の減少に伴う教職員の減少などの影響により、運動部そのものの存続が危ぶまれている状況が続いています。

今後の運動部活動の充実を図るため、外部指導者の活用を重点とした取り組みや、学校区を超えた合同活動など、スポーツ競技団体と学校が連携した取り組み、環境整備に努めていく必要があります。

2-3 成人・高齢者

本市では、昭和53年の「スポーツ都市宣言」をきっかけに、生涯スポーツの振興を図る目的として、昭和56年から地域対抗スポーツ祭、現在の「地域交流スポーツ祭」を開催しています。本事業は、市内全自治会を対象としており、これにより地域でのスポーツ活動の向上を始め、地域コミュニティの形成を図り、地域内での交流が進むことで、地域の活性化に結び付けています。

しかしながら、近年の生産人口の減少、少子高齢化など社会的背景の影響により、一部地域では「参加者の固定化」が進んでいる傾向にあります。今や高齢者にとってスポーツは、ますます生活の中で重要となっており、体力の維持、低下防止を図るには無理のない適度な運動が必要となっています。

本市における高齢者については、比較的スポーツ・運動に取り組むことで健康状態を維持している状況が伺え、年齢が高くなるほどスポーツ・運動に取り組む頻度が高い傾向にあります。

○平成29年度高齢者向け体操教室受講者数

単位：人

教室名(コース)	会場	第1期	第2期	第3期	計
健康増進(火曜)	焼津体育館	70	60	68	198
健康増進(水曜)	大井川体育館	14	15	20	49
シニア体操(木曜)	総合体育館	22	21	24	67
シニア体操(金曜A)	総合体育館	39	44	66	149
シニア体操(金曜B)	総合体育館	38	42	53	133

※総合体育館改修工事に伴いシニア体操の第1期と第2期は焼津体育館で実施

2-4 障害者

障害者のスポーツについては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定したことをきっかけに、更に注目が高まってきています。

本市では、障害者を対象とした水泳大会の開催のほか、東京2020パラリンピック競技大会で、本市をホストタウンとするモンゴル国のパラリンピック陸上競技ナ

～第2章 現状と課題～

シヨナルチームや、車いすバスケットボール国内代表選手による強化合宿など、国を代表する選手団を積極的に受入れ、障害者スポーツへの理解や市民との交流を深めています。

本市における障害者スポーツに対する認知度の向上、理解醸成を図るため、障害者と健常者が、一緒にスポーツを楽しめる環境づくりが必要になっています。平成30年度からは、市内在住の障害者は、施設使用料を全額免除としております。

3 スポーツ環境と施設

3-1 「競技スポーツ施設」としての環境充実

現在、本市に設置しているスポーツ施設のうち、国内における競技施設基準を満たした施設としては、総合グラウンド内にある総合体育館（愛称：シーガルドーム）、野球場、陸上競技場のほか、ディスカバリーパーク焼津水夢館（水泳場）となります。

特に総合体育館は、平成3年の全国高校総合体育大会レスリング競技会場として、竣工して以来、既に27年が経過しており、近年では経年劣化による修繕を重ねつつ、平成28年、29年の2か年で大規模な改修工事を実施しました。

本工事では、メインアリーナへの冷暖房設備の設置、照明灯のLED化、トイレのバリアフリー化を実施し、国際基準をも満たすこととなり、今後の大会招致に向けて環境が整えられました。一方で、サブアリーナでのスポーツ環境の充実、今まで以上に気軽に観戦入場できるような仕組みや設備の整備などが今後の環境整備に向けた課題として取り組んでいく必要があります。

3-2 「市民スポーツ施設」の環境整備

市民スポーツ施設は、市民レベルの大会が開催できる規模の施設であり、本市においては、焼津体育館、大井川体育館、大井川河川敷運動公園内の陸上競技場、スポーツ広場のほか、市内に2か所あるテニス場などがあります。

特に焼津体育館については、昭和39年の竣工以来、既に50年以上が経過しており、「市有公共建築物耐震対策事業計画」においては“耐震性が十分でない建築物”として、平成32年度までの耐震対策が求められています。

焼津体育館は市の中心部に位置しており、利用率も90%を超え他の施設に比べて非常に高い状況にあることから、本市の市民スポーツの振興を図るうえで重要な拠点となっています。利用者が安全で安心してスポーツができるよう、また、市民レベルのスポーツ振興が停滞しないよう新たな施設の整備に向けて取り組んでいく必要があります。

平成29年度におけるスポーツ施設（学校施設を除く）の利用状況は次のとおりです。

○平成29年度スポーツ施設利用状況

施設名		団体数	人数 (人)	利用率 (%)	
総合グラウンド	総合体育館	メイン	150	25,042	82.0
		サブ	85	17,495	70.5
	野球場		144	31,163	38.5
	陸上競技場		244	22,631	40.5
	テニスコート		1,076	5,633	35.8
焼津体育館		アリーナ	1,047	35,093	90.2
		卓球室	—	3,876	—
大井川体育館		1階	955	21,684	74.8
		2階	248	4,166	33.4
青峯プール		—	38,557	—	
ディスカバリーパーク焼津 水夢館		—	66,326	—	
漁船員テニスコート		3,285	23,646	50.1	
田尻スポーツ広場		40	1,634	10.2	
一色水道用地		162	8,407	25.8	
飯淵グラウンド		138	5,950	29.8	
大井川河川敷 運動公園	陸上競技場		150	17,970	37.2
	多目的広場		467	12,450	34.5
	サッカー場		81	4,797	30.8
	ソフトボール場		130	10,915	19.6

3-3 「地域スポーツ施設」の充実

本市では、市民が身近な場所でスポーツに取り組めるよう、市内小中学校の体育施設（体育館・グラウンド）の夜間開放事業を進めています。小中学校の体育施設は、平日昼間の学校授業などでの利用を基本としている中で、夜間においては地域における成人向けスポーツの拠点として、重要な役割を持っています。

こうした中でも、学校体育施設も老朽化が進むとともに、少子化の影響を受け、本来の施設機能のあり方を検討していく時期でもあります。

今後の地域スポーツの拠点を、どのように整理・再編していくかの課題に対し、各地域の公民館で軽スポーツを行なう複合的な利用や、公園内でスポーツが

できるような多目的施設など、市民が気軽にスポーツを楽しむことができる地域スポーツ拠点施設を整備していくことが必要となっています。

3-4 老朽化施設の計画的整備

本市では、近年の人口減少や人口構成の変化の中で、将来にわたり安心・安全で真に必要な公共施設サービスを提供していくために、平成25年度から公共施設マネジメントに取り組んでいます。

本市の公共施設は、建築から30年を経過した施設が全体の約6割を占め、改修や更新が必要となっていますが、公共施設の改修や更新には、多額の費用が必要となるため、将来のまちづくりと財政見通しに基づき、適切な時期に適切な方法で進めていく必要があります。

スポーツ施設においては、焼津体育館や総合グラウンド陸上競技場（スタンド）の耐震対策が課題となっており、これらの施設は市民の利用が非常に多いことから、現状の施設機能を維持しつつ、市民に安全かつ安心してスポーツを楽しめる環境を提供する必要があるため、短期的に整備を進める必要があります。

○焼津体育館（管理部分・アリーナ部分）

焼津体育館は、大井川体育館とともに「市民スポーツの拠点」として位置づけられ、市の中心地に設置していることから利用率も非常に高く、市営相撲場と併設していることもあり、特に武道関係団体の利用も多いのが特徴です。しかし、既に建設から50年以上も経過しており、耐震性能も劣っています。

○総合グラウンド陸上競技場（スタンド）

総合グラウンド陸上競技場は、(財)日本陸競技連盟4種公認競技場であり、現在、東京2020パラリンピック陸上競技大会の事前キャンプ地として登録されています。主に、陸上競技とサッカーによる市民スポーツの拠点として利用されていますが、スタンドは耐震性能が劣るとともに、大井川河川敷運動公園陸上競技場との機能分担について課題となっています。

3-5 スポーツ施設の情報発信・システム化

本市には、夜間開放事業に伴う学校体育施設を含めて、スポーツ施設は全体で49か所あり、各施設の情報はホームページを中心にお知らせしています。しかしながら、ホームページに掲載している内容は、施設の概要に留まり、「利用のしかた」や「利用状況」などのリアルタイムな情報を発信し、ニーズに対応していく必要があります。

4 スポーツを通じた交流

4-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

事前キャンプ地としての交流

本市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を受け、モンゴル国のレスリング競技（オリンピック）とパラ陸上競技（パラリンピック）の2種目の事前キャンプ地になりました。

2017年より両競技のナショナルチームによる強化合宿を受け入れ、「同国の応援・支援」とともに公開練習などを通じて「市民との交流」を進めていますが、これまでは競技に関係する人や団体を対象に交流事業を進めている状況にあります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会後を見据えた「レガシーの継承」を構築していくうえでも、スポーツに限らず、文化、観光、経済面を含めて交流事業を更に拡大、充実していく必要があります。

2017年に実施した交流事業は以下のとおりです。

○モンゴル国ナショナルチーム強化合宿

	期 間	種 目	交流内容
2017年	11/1～12/1	パラ陸上	公開練習・合同練習 (参加者数:90人)
	12/13～12/22	レスリング	公開練習・合同練習 (参加者数:75人)

4-2 スポーツ姉妹都市との交流

本市は、昭和53年にスポーツ都市宣言をしたことに合わせ、岐阜県土岐市と「スポーツ姉妹都市」を締結し、以来、両市民がスポーツを通じた交流を続けています。

近年の交流種目を世代別に見ると、一般（成人）ではインディアカ、グラウンドゴルフ、バドミントン、卓球及びスポーツ推進委員によるニュースポーツが主流となっています。また、中学生ではバスケットボール、バレーボール、サッカーが、小学生（スポーツ少年団）では空手、軟式野球、レクリエーションが主流になってきており、従来に比べて交流種目が絞られ、固定化する傾向にあります。

これは、両市における競技種目の普及度合、競技人口の格差など、従来に比べて市民のスポーツに対する取り組み方が変化していることが伺えます。これらを両市の課題として捉え、今後の交流事業のあり方を検討していく必要があります。

交流事業の開催状況などは以下のとおりです。

○スポーツ姉妹都市交流事業の種類

- (1) 前期本交流・・・5月開催（一般対象）
- (2) 後期本交流・・・9月開催（一般対象）
- (3) 中学生交流・・・6月開催
- (4) スポーツ少年団交流・・・8月開催
- (5) 自主交流・・・随時

※自主交流は、行政事業とは別に競技団体が自主的に土岐市とスポーツを通じた交流事業を実施するもの

○スポーツ姉妹都市交流事業延べ参加者数（平成29年度末現在）

単位：人

交流委員会	本交流	中学生	少年団	自主交流	合計
1,408	25,094	10,518	9,623	21,129	67,772

4-3 日本代表クラス強化合宿による交流

子どもたちの夢を育む機会として、国内トップクラスの選手、チームによる強化合宿を受入れ、期間中に子どもたちがトップアスリートからの技術指導や、ふれあいを楽しむなど、直接交流できる環境づくりに努めています。

子どもたちにとっては、日本代表選手の練習風景を観たり、直接指導を受けたりすることは、一生の思い出となることに加え、自身の「やる気」を向上させる絶好の機会と捉えることができます。

～第2章 現状と課題～

また、子どもに限らず全ての世代の方々にも、日本代表選手の活躍は、感動を与えてくれるとともに、スポーツに対する関心を高め、スポーツをするきっかけづくりにもつながります。

これらの効果を更に高めていくため、積極的に日本代表選手・チームの強化合宿を受け入れていく必要があります。

近年の日本代表クラスによる強化合宿開催状況は次のとおりです。

○日本代表クラス強化合宿

期 間		種 目	交流内容
2016年	5/26～5/29	3x3	男子日本代表強化合宿 選手激励会・クリニック (参加者数:67人)
	12/5～12/10	車椅子バスケットボール	男子日本代表強化・選考合宿 選手激励会・公開練習 (参加者数:300人)
2017年	7/14～7/17	3x3	男子日本代表強化合宿 選手激励会・クリニック (参加者数:100人)
	12/11～12/16	車椅子バスケットボール	女子日本代表強化合宿 フレンドリーマッチ (参加者数:100人)

4-4 焼津市ゆかりのトップアスリートとの交流

本市からは、プロ選手やオリンピック選手（オリンピック）が誕生しており、近年では、オリンピックを始めとした国際大会へ出場する際には、激励会・応援する会・パブリックビューイングなどを開催し、直接的な交流、また、映像を通しての応援などの間接的な交流を図っています。

現役で活躍している選手は、来焼する機会が限られてきますが、「本市の宝・財産」であるトップアスリートと市民との交流は、日本代表クラスの強化合宿と同様、また、それ以上の効果に繋がることとなるため、機会を捉えて積極的に招聘していくことが重要となります。

○本市出身のトップアスリート（敬称略）

氏 名	競技名	主な成績	交流内容
松永共広	レスリング	・2008アジア選手権 優勝 ・2008北京五輪 フリースタイル55kg級 2位	・五輪パブリックビューイング ・凱旋パレード ・レスリング研修会

～第2章 現状と課題～

村松大輔	サッカー	・2012ロンドン五輪 U-23日本代表	・小学生招待チケット贈呈 ・五輪パブリックビューイング
長谷川恒平	レス リング	・2012ロンドン五輪 グレコローマンスタイル55kg級 10位	・五輪パブリックビューイング ・学校訪問
牧田和久	野 球	・2013WBC 日本代表 ・西武→MLBパドレス	・WBC パブリックビューイング ・広報誌インタビュー掲載
増井浩俊	野 球	・2015WBSCプレミア12 日本代表 ・2017WBC 日本代表	・WBC パブリックビューイング ・少年野球教室
片山來夢	スノー ボード	・2015ワールドカップ ハーフパイプ 優勝 ・2018平昌五輪 ハーフパイプ 第7位	・片山選手を応援する会 ・五輪パブリックビューイング ・学校訪問

5 スポーツイベントの開催及び情報発信

5-1 市民参加型スポーツイベントの開催

本市では、「スポーツを楽しむ」ことを基本に、いつでも気軽にスポーツに参加できるように、各種スポーツイベントを開催しております。楽しみながら健康づくり、体力の維持・向上につながるものから競技性が高いものまで、幅広くスポーツに参加できる機会を提供しています。

市民参加型スポーツイベントとして、代表的なものは以下のとおりです。

《焼津みなとマラソン大会》

市内最大のスポーツイベントである「焼津みなとマラソン大会」は、前身である「焼津20キロマラソン大会」を引継ぎ、昭和61年から開催しています。同大会には焼津市民はもとより、全国から市民ランナーが集まり、潮風香る日本陸連公認コースを駆け抜けています。

○焼津みなとマラソン大会エントリー数 (単位：人)

	第28回 (平成25年)	第29回 (平成26年)	第30回 (平成27年)	第31回 (平成28年)	第32回 (平成29年)
市内	1,982	2,064	2,267	2,238	2,344
参加割合	18.5%	18.7%	17.9%	19.8%	20.1%
県内	6,092	6,590	7,745	7,006	7,506
県外	2,654	2,385	2,677	2,076	1,821

《市民トリム大会》

市民が生活の中に運動習慣を取り入れ、健康に過ごせることを目標に、高草山の自然豊かなコースを設定し、ウォーキング形式でトリム大会を開催しています。

○市民トリム大会参加者数 (単位：人)

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
292	134	197	148	181

《地域交流スポーツ祭》

地域でのスポーツ振興、コミュニティづくりを目的に、年間6種目のニュースポーツを中心としたスポーツ種目で、自治会・地域による対抗戦で実施する本市独自の大会を開催しています。

～第2章 現状と課題～

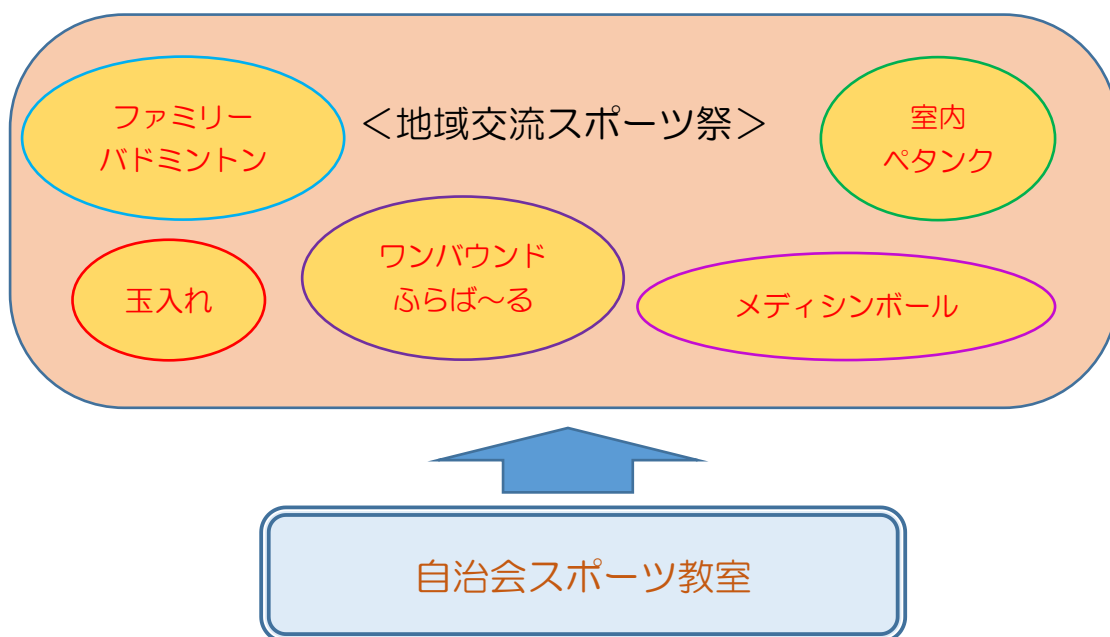
スポーツ種目は、ファミリーバドミントン、玉入れ、室内ペタンク、ドッチビー、綱引き、メディシンボールなどで高齢者でも参加できる種目を採用しています。

○地域交流スポーツ祭参加者数

(単位：人)

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
3,078	2,848	3,006	3,122	1,420

※平成 29 年度は、メイン会場の総合体育館の大規模改修工事により、種目数を減らし会場分散型で実施しています。



《市民スポーツ祭競技大会》

「健康でたくましい心と体 明るく豊かな生活」を目指し、NPO法人焼津市体育協会に加盟する競技団体が、多くの市民が参加できる「市民スポーツ祭」を開催しています。同一競技でも、世代別に大会を開催することで、幅広い年齢層の市民が参加し、年齢に応じた競技力の向上が図れるとともに選手、あるいはチーム間どうしの交流も深めています。

○市民スポーツ祭参加者数

(単位：人)

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
10,638	10,287	11,276	10,450	9,784

《水に親しむ集い（障害者水泳大会）》

本市では、平成12年度より学生ボランティアなどの協力をいただきながら、障害者を対象とした水泳大会を開催しています。

過去5年間の参加状況は以下のとおりです。

〇水に親しむ集い（障害者水泳大会）参加者数（単位：人）

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
107	92	109	97	中止

5-2 全国レベルの大会などの招致・情報発信

国内トップクラスの競技スポーツを間近で見ることで、子どもたちの夢や希望を与え、自身の将来的な目標づくりにつなげるなど、「スポーツを観る」機会を充実させるために、全国レベルの大会などを招致しています。

子どもたちに限らず、観戦者が更に増加し「スポーツを観る」効果を高めるためには、十分な情報を発信することが重要です。本市で開催される全国レベルの大会や強化練習などの情報は、今後更に各種媒体を利用して情報発信に努めていく必要があります。

5-3 焼津市ゆかりのトップアスリートの情報発信

本市ゆかりのトップアスリートとして、北京オリンピック・レスリング競技のシルバーメダリスト「松永共広選手」を始め、日本代表選手として、世界レベルの大会で活躍しています。

また、青少年の中からも全国中学校体育大会（全中）や全国高等学校総合体育大会（インターハイ）などを始めとする全国レベルの大会や国際大会で活躍している選手が数多くいます

しかしながら、こうした活躍をしている選手、チームの紹介が十分とは言えない状況にあることから、これらの情報収集から情報発信までの仕組み作りが課題となっています。

5-4 アスリートの養成・指導者の人材育成

トップアスリートへの道を開くためには、自身の努力はもちろんのこと、選手の発掘から練習環境、家族など周囲の協力、優秀な指導者の確保など、外的要素が重要となります。

また、近年ではテニスや卓球などの世界レベルで活躍している有名選手は、ジュニア期から充実した環境で各競技に取り組む様子が、テレビなどのメディアを通じて伝えられています。

こうした中で、本市におけるアスリートの養成は、体育協会加盟の各競技団体やスポーツ少年団、また、学校部活動において独自に取り組む方法が主となり、市はその支援をしています。

～第2章 現状と課題～

しかしながら、近年の人口減少の影響により、どの分野においても競技人口、指導者などの人材が十分ではなく練習環境の整備が課題となっており、競技団体、スポーツ少年団、学校の三者との相互連携など、今後の取り組み方を検討していく必要があります。

第3章 基本理念・目標値

1 基本理念

本市のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえて本計画を推進するにあたり、次のとおり基本理念を定めます。

だれもが「スポーツ」に親しみ、楽しむ 活かに満ちたまち YAIZU

～「行う・する」「観る・ふれあう」・「育てる・支える」～

この理念は、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができ、また、スポーツを楽しむことで、健康で豊かな生活をおくることができ、スポーツにより市全体が活気にあふれ賑わいのあるまちづくりを目指しています。

2 目標値

基本理念の実現に向けて、次のとおり目標値を設定します。

○ 目標値1

市民のスポーツ実施率 ^(注1)	2017年度	➡	2028年度
	43.6%		53.0%

○ 目標値2

スポーツ交流人口 ^(注2)	2018年度	➡	2028年度
	69万人		108万人

(注1)スポーツ実施率は週1回以上スポーツに取り組んだ人の割合をいいます。

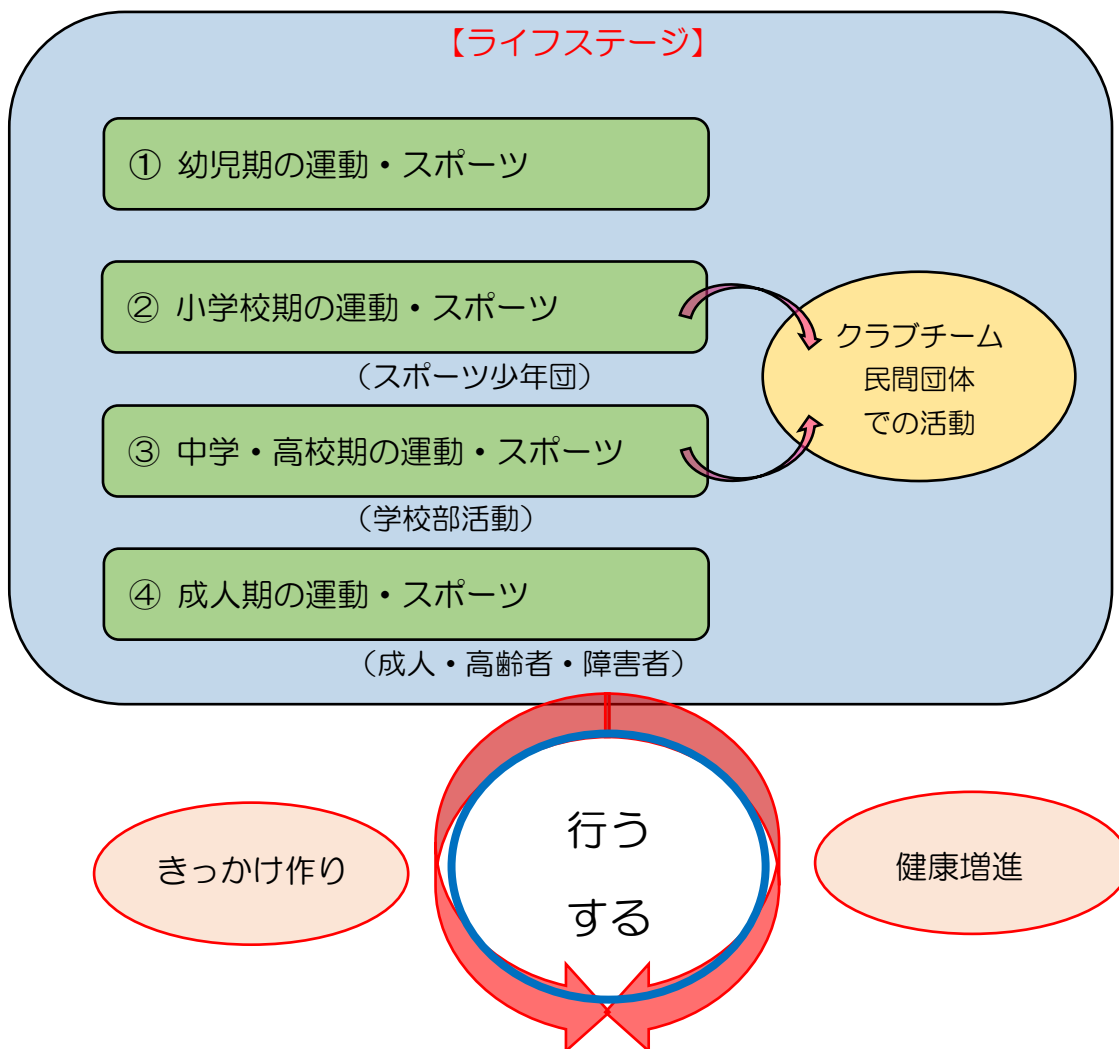
(注2)スポーツ交流人口は、市民スポーツに参加する人やプロスポーツを観戦する人などをいいます。

第4章 基本方針・基本事業

1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

本市のスポーツの原点である、昭和53年の「スポーツ都市宣言」にうたわれた「市民すべてがからだに適したスポーツを行いましょう。」を引続き実践すべく、生涯にわたって、一人ひとりが年齢や体力等に応じスポーツを楽しみながら継続して実施することが必要となっています。

- 運動をするきっかけづくり
- 運動ができる環境づくり



1-1 スポーツ教室・スポーツクラブの実施

市民の誰もが、いつでも気軽に日々の体づくりや健康づくりに取り組めるよう、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を提供していきます。

また、スポーツ・運動は継続的に実施することで、持久力や柔軟性などの体力向上につながり、特に若年、高年齢層の健康維持、目標づくりとなるため幅広い世代が取り組めるよう努めていきます。

1-1-1 スポーツ教室の開催

気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりの一つとして、幼児から高齢者まで各年齢層に応じたスポーツ教室を開催します。

特に幼少期は、これからの「身体を動かす習慣づくり」につながる重要な時期ととらえ、親子体操教室などを通じてスポーツ・運動に親しむきっかけづくりや、保護者の意識向上に向けて幅広く取り組みます。



1-1-2 スポーツクラブの開催

スポーツを楽しむきっかけとして、気軽にできるレクリエーション的なスポーツ（ニュースポーツ）を中心とした、スポーツクラブ事業を開催します。

また、スポーツ実施率の低い年齢層（30～50歳代）や、親子でも参加できるような運動種目を取り入れていきます。



1-2 学校体育、運動部活動の充実

1-2-1 学校体育の充実

学校では、「豊かな心を持ち、自ら生き生きと活動する子どもの育成」を目標として掲げ、児童・生徒が自ら目的を達成するために発揮する力、「自立する力」を養うための一つとして、スポーツ・運動を通して「健やかな体」を身につけることを目指しています。

また、「ゴールデンエイジ」と称される小中学生にとってのスポーツは、体力向上とともに心身の健全育成・人格形成の大切な時期であることから、「運動好きな子どもの育成につながる体育活動」「心と体のバランスのとれた健康づくり」「健全な成長につながる食育指導」を推進していきます。

1-2-2 運動部活動の充実

運動部活動は、一つの競技種目を通じて同じ興味、関心を持つ学年の枠を超えた異年齢の生徒が集まり、授業以外での学校生活の楽しさをもたらす大きな役割を果たしています。

近年の生徒数の減少や、体育専攻の教職員、専門的な指導力を有する顧問の減少等の課題に対し、外部講師の活用による指導者確保に努めるとともに、従来の学校別の活動にとらわれないスポーツクラブ方式による活動方法なども検討していきます。

1-3 地域体育組織の活動促進

地域でのスポーツ振興を図るためには、市民へのニュースポーツの普及を担うスポーツ推進員や、各自治会の体育委員が、ニュースポーツを積極的に取り入れ、運動する楽しさや健康づくりのきっかけを広めていくことが重要であり、各地域での取り組みが、市全体のスポーツ活動の普及につながっていきます。

地域でのスポーツ活動の拠点となる、学校体育施設の夜間開放事業を推進し、併せて地域体育組織が行うスポーツ活動を通じたコミュニティの形成を促進していきます。

1-4 気軽に参加できるスポーツイベントの開催

市民がスポーツ・運動に取り組む最大のきっかけづくりとして、気軽に参加できるスポーツイベントを開催していきます。「スポーツをする楽しみ」を味わう環境づくりとして、また、市内にとどまらず市外からの参加者とも交流することで、お互いのスポーツに対する関心度や意欲の向上を目指せる環境づくりに努めていきます。

1-4-1 焼津みなとマラソン大会の開催

根強い人気のジョギング、ランニングを愛好する市民ランナーが一堂に集結し、健康増進、体力向上を図るとともに、同時開催の焼津みなとまつりなどを、全国に向けて「焼津市の魅力」を発信していきます。

併せて、障害者の方も気軽に参加できる体制を引き続き研究し、「チャレンジド」部門の確立に向けて検討していきます。



1-4-2 市民トリム大会の開催

人の動作として、普段から何気なく行われている「歩く」ことから始まるウォーキング、ハイキングは、自然に体力向上、健康維持につながると言われています。本市の自然豊かな環境を活かしたトリムコースを設定し、各自の体力に応じた、楽しみながら汗を流せる大会を目指していきます。



～第4章 基本方針・基本事業～

1-4-3 地域交流スポーツ祭の開催

地域でのスポーツ振興を図るとともに、その成果を発揮する場として、地域交流スポーツ祭を開催していきます。また、障害者と一緒に運動できる種目の採用、実践に向け、誰でも、手軽に、楽しく取り組める地域交流スポーツ祭を目指していきます。



1-4-4 スポーツ姉妹都市との交流大会の開催

スポーツ姉妹都市を締結している、岐阜県土岐市との間では、これまでに両市併せて、延べ6万人を超える市民が、スポーツを通してお互いの交流を図っています。

両市で構成するスポーツ交流委員会においては、市民の健康増進、体力の維持向上を図るとともに、スポーツを通じた親睦と教育・文化の発展を目指し交流事業を進めていきます。



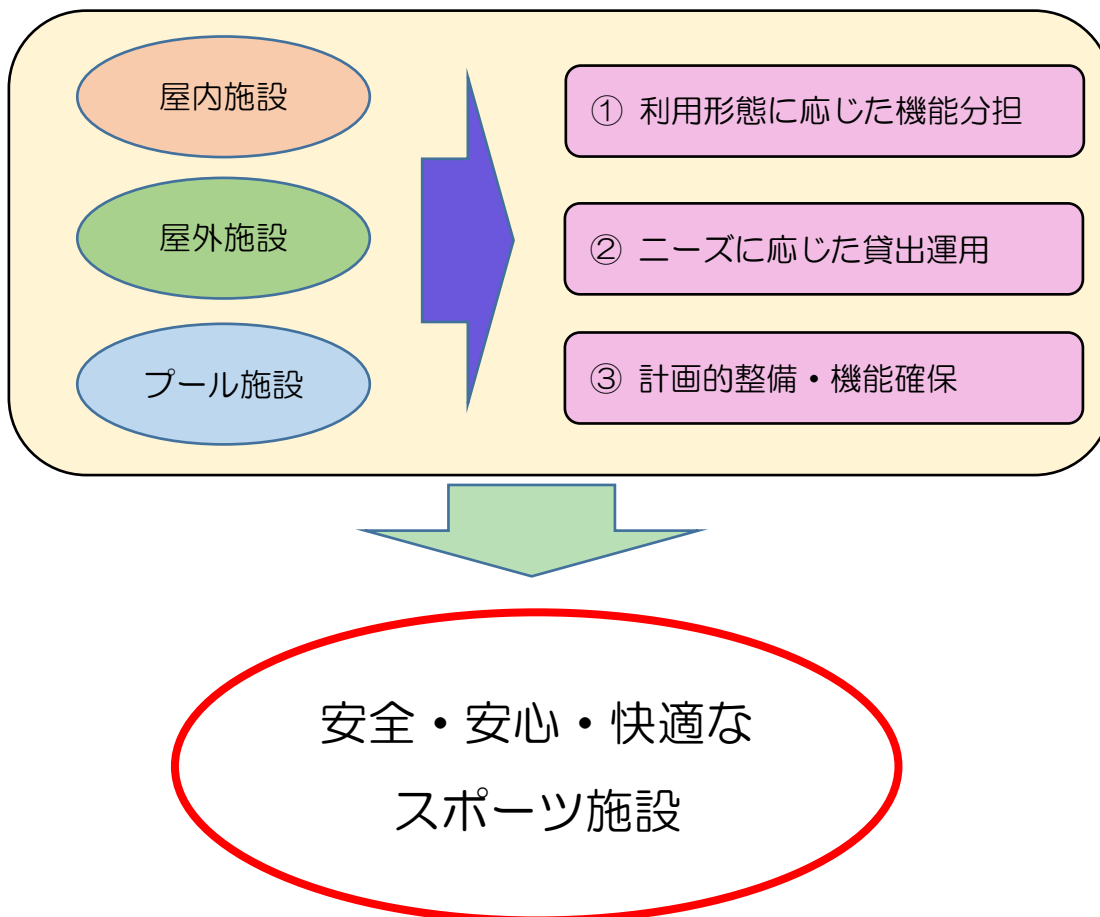
1-4-5 市民スポーツ祭競技大会の開催

体育協会加盟の各競技団体が、それぞれの競技種目を通して競技力の向上を図り、また交流の輪を広げています。多くの市民が参加できる市民スポーツ祭は、交流人口の拡大とともに競技的な能力が高い選手の発掘に寄与するものであり、スポーツ都市宣言の実現に向けて各種競技大会を開催していきます。

2 市民満足度の高いスポーツ施設の提供

学校体育施設を含む市内54のスポーツ施設を、利用形態、規模、目的に合致した形で利用していただくには、施設に応じた機能を適切に分担したうえで、管理運営を行っていくことが必要となります。

安全で安心な、かつ快適なスポーツ施設を提供していくため、適切な維持管理をしていく必要があります。併せて、スポーツ施設の老朽化を考慮した長期的な視野で計画的に整備していきます。



2-1 利用ニーズに応じた機能的な施設配置

スポーツ施設の利用効率を高めるため、スポーツ施設に求められる利用者からのニーズを、規模や機能などにより次の三つに区分し、それぞれのニーズに応じた機能レベルに施設を位置づけて有効的な利用を促進します。

利用ニーズ		機能レベル	施設名
	競技スポーツ	プロスポーツ 公認大会 全国・東海地区レベルの大会が開催可能	・総合グラウンド 総合体育館 ・総合グラウンド野球場 ・マラソンコースリパティ
	市民スポーツ	市内・志太地区レベルの大会が開催可能	・総合グラウンド 陸上競技場 ・大井川河川敷運動公園 陸上競技場 スポーツ広場 (サッカー使用の場合) ・ディスカバリーパーク 焼津水夢館 ・焼津体育館 ・大井川体育館 ・大井川河川敷運動公園 陸上競技場 (陸上使用の場合) スポーツ広場 ・飯淵グラウンド ・漁船員テニスコート ・総合グラウンドテニスコート
	地域スポーツ	地域・自治会体育活動及び日常的に気軽に市民が利用できる	・小中学校体育館 ・公民館 ・保健センター集検ホール ・一色水道用地 ・田尻スポーツ広場 ・小中学校グラウンド

2-2 スポーツ施設の計画的整備（公共施設マネジメント等の推進）

本市スポーツ施設のうち、平成9年竣工のディスカバリーパーク焼津水夢館（水泳場）が最新施設となりますが、既に20年以上が経過しています。各施設とも老朽化が進む中で、安全かつ安心して施設を利用できるように、優先順位を設け長期的な視野で、整備計画を立て適切な維持管理に努めていきます。

2-2-1 焼津体育館

■公共施設マネジメントでの位置づけ

再編が必要な施設の「モデル事業」に位置づけられており、個別再編プランに基づき行動計画を進めていきます。

■施設の方向性

昭和39年に供用を開始して以来50年以上が経過しており、老朽化とともに耐震性能も問題とされています。しかしながら、市民スポーツの拠点施設として90%以上の利用率があり、スポーツの振興を図るうえで重要な役割を担っていることから再整備に向けて取り組んでいきます。

2-2-2 陸上競技場

■公共施設マネジメントでの位置づけ

再編が必要な施設の「建物・機能の統合・集約等」に位置づけられており、総合グラウンド陸上競技場と大井川河川敷運動公園を合わせ、個別再編プランに基づき行動計画を進めていきます。

■施設の方向性

総合グラウンド陸上競技場（アンツーカートラック）及び大井川河川敷運動公園陸上競技場（タータントラック）は、現状の利用形態からそれぞれ課題がありますが、「主に練習会場として利用する競技場」、「主に競技会を開催する競技場」として2施設を区別していく方向で、整備する内容を競技団体と協議しながら再編方針を決定していきます。

2-2-3 学校体育施設の方向性

学校体育施設である体育館、プールも他のスポーツ施設同様に、老朽化に伴う経年劣化が進んでいます。学校体育施設についても、今後の学校のあり方を検討する中で、その方針に基づいて体育館、プールの整備構想を検討していきます。

特にプールについては、市民プールとの有効利用を併せて検討していきます。

2-2-4 多目的利用の方向性

誰でも気軽に利用できる公園・広場などについては、施設の規模や利用形態によって様々な活用方法が考えられます。

特に大規模な公園・広場については、公園機能、防災機能に加えスポーツ機能を取り入れた多目的利用なども考えられます。

2-3 利用サービスの向上と効率的な管理

施設の効率的な利用促進を図るため、また、併せて効率的な管理を進めるため、貸出しの運用については以下のとおり進めていきます。

2-3-1 利用サービスの向上

スポーツ施設の利用促進の観点から、利用手続に関する簡素化や時代のニーズにあったシステムの導入など、利用サービスの向上に向けた取り組みを検討していきます。

2-3-2 優先予約

競技スポーツとしての拠点施設では、全国レベルの大会などの開催が可能であり、大会レベルが高いほど開催スケジュールが早く決定されます。本計画の中で示すとおり、全国レベル、東海地区レベル以上の大会、日本代表クラスの強化合宿を積極的に招致していくため、3年先まで優先権を保有できるものとします。

2-3-3 施設使用料の減免措置

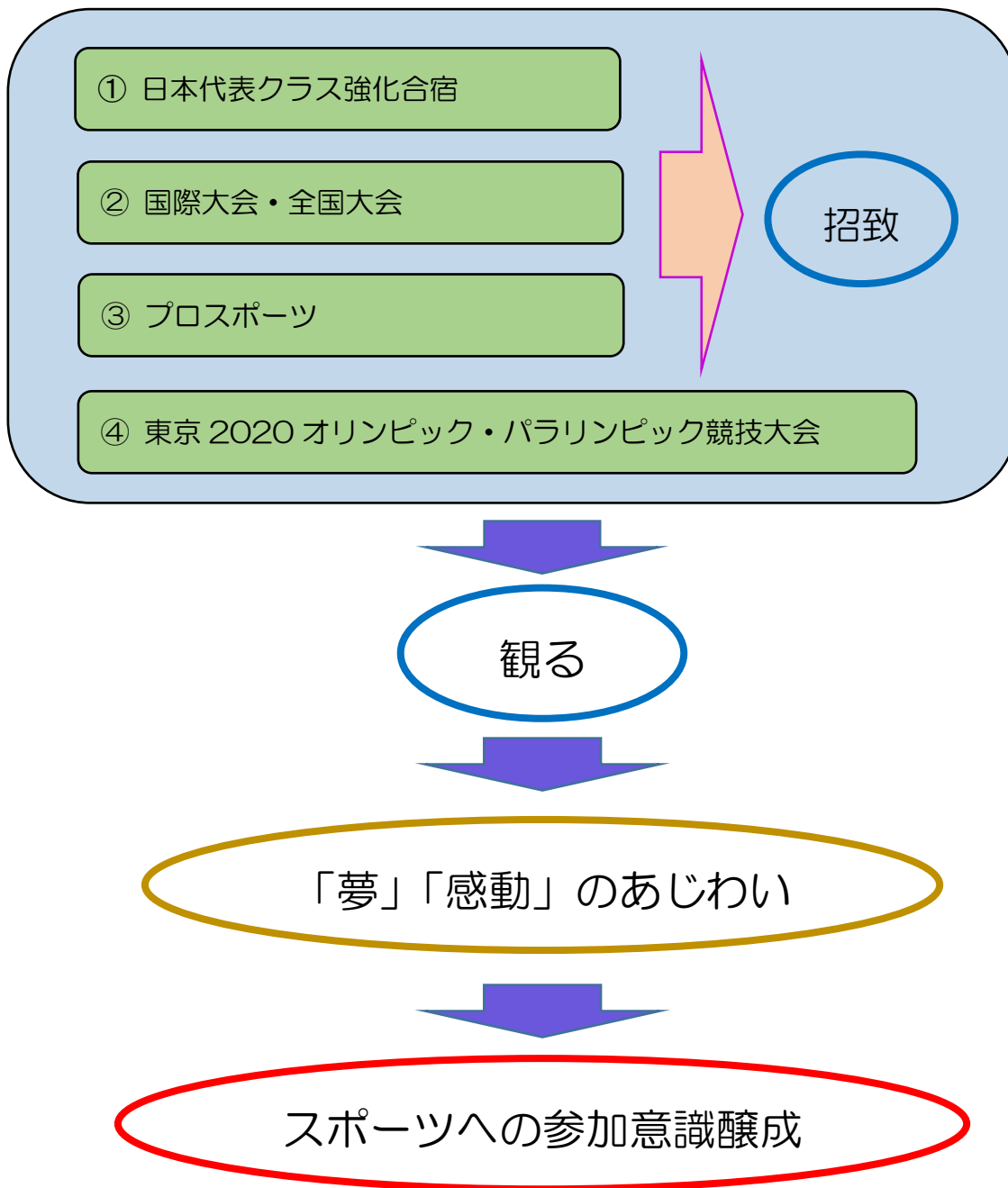
スポーツ施設を利用するにあたっては、受益者負担の観点から条例に基づき使用料を徴収しています。ただし、教育活動や青少年の健全育成、地域スポーツ、障害者スポーツなど目的に応じて、減免措置を講じています。

2-3-4 団体登録制度

本市では、施設の効率的な利用促進を図るため、個人利用ができる施設と団体で利用する施設の区分をしています。特に団体で利用する施設については、なるべく多くの方に利用していただくため「5人以上で構成されたチーム・グループ」を対象として、その団体組織を登録していただいています。引き続き登録制度を採用し、施設の利用にあたってのルール統一化を図っていきます。

3 夢を育み、スポーツ交流で賑わうまちの創出

競技力の高い選手・チームが活躍する姿は、市民に勇気と希望を与えるとともに、子どもたちにとっては憧れの存在となるものです。国内外からトップアスリートが本市を訪れることで市民が身近にその活躍を観る、また、直接ふれあうことでその効果を更に高めます。



3-1 ホストタウン相手国代表選手強化合宿の受入れ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、本市はモンゴル国のレスリング競技とパラリンピック陸上競技の事前キャンプ地としてホストタウン登録をしています。同国及び代表選手を応援するため両競技のナショナルチーム強化合宿を受け入れ、期間中には、公開練習や合同練習などを通して市民との交流を深め、応援機運の醸成を図っていきます。

東京大会に向けて、特にパラリンピック競技に対する関心が高まっていることから、本市でのパラリンピック陸上ナショナルチームとの交流は、市内にとどまらず積極的に情報を発信し市内外の障害を持つ方との交流に努めていきます。



3-2 日本代表クラスの強化合宿・大会の受入れ

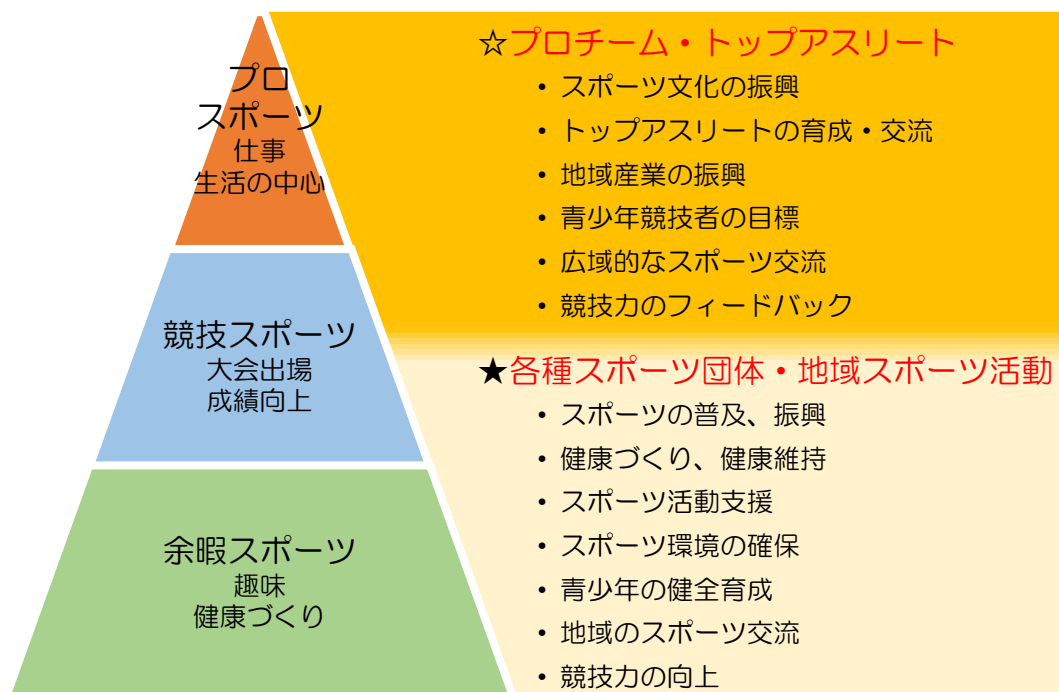
オリンピック・パラリンピック競技大会など、世界レベルの大会出場を狙う国内トップクラスの選手による強化合宿・大会を積極的に受入れ、トップアスリートが取り組む姿を身近に感じることで、市民のスポーツに対する関心を高めていきます。



3-3 プロスポーツの支援、国際大会等の招致

スポーツの世界では、プロスポーツやオリンピックへ参加するトップアスリートが、各種競技の頂点となり、これらの多くは、大都市や首都圏での活動が中心となっています。しかしながら、本市を拠点とするプロチームを発足することで、トップアスリートとの交流の機会が増大し、新たな交流、更には地域の活性化にもつながる効果が高いため、2018年に結成された3x3プロチーム「YAIZU GR UNITED」を支援していくとともにリーグ戦の「3x3.EXE PREMIER」を招致していきます。

また、国際レベルの大会を本市で開催することで、スポーツを通じた交流はもちろんのこと、文化・観光などの魅力を世界に向けて発信し「賑わいのあるまちづくり」を推進していきます。



3-4 青少年による国際スポーツ交流

多方面での国際交流が進む中、本市においても次代を担う子どもたちが国際的感覚を養い、併せて競技力の向上、異文化の習得など、スポーツを通して海外の人たちとの交流を進めていくことが大切となっています。

まずは、東京2020大会でモンゴル国のホストタウンとなったことをきっかけに、更に友好関係を深める目的を含め、同国と青少年によるスポーツ交流を実施していきます。今後、スポーツを通じた交流を足掛かりに文化、観光をきっかけとした関係国、都市、地域との交流を検討していきます。

4 競技力向上を目指したスポーツ活動の支援

スポーツは、健康維持、体力向上はもとより競技性が求められているため「スポーツをする」人にとっては競技力向上という目標があります。これらの「スポーツをする」人には指導をする人や支援をする人が重要な役割を担うこととなるため、その環境づくりに努めていきます。

4-1 指導者の育成体制の充実

4-1-1 スポーツ少年団の指導

スポーツ少年団は、青少年の体力向上、競技力向上とともに次世代を担う人材を育成することを目的としています。一定の種目等に限らず多面的な指導が求められているため、指導者の資質向上に向けた講習会などの開催を支援していきます。



4-1-2 中学運動部活動の指導

少子化の影響や民間スポーツクラブなどの校外活動の進展により、中学校の部活動も縮小傾向にあります。また、児童生徒数の減少に伴う教職員の減少などの影響により、競技種目に応じた専門的な指導ができる教職員も減少しているため、外部指導者による活動が求められてきています。

外部指導者の採用をはじめとした中学運動部活動の充実に向けた仕組みづくりに努めていきます。

～第4章 基本方針・基本事業～

4-1-3 地域スポーツの指導

地域でのスポーツ振興を図るうえで必要な指導者（人材）を育成するため、スポーツ推進委員、自治会体育委員など各地域のスポーツ関係者を対象とした実技講習会などを開催し資質向上に努めていきます。



4-2 体育協会、スポーツ少年団の活動支援と連携

4-2-1 体育協会の活動

焼津市体育協会では、市民の体力と健康増進を図るため、加盟競技団体及びスポーツ関係機関と連携を図り、市民総ぐるみのスポーツの振興を推進し、市とともに健康でたくましい市民の育成と、より明るく豊かな街を目指しています。

毎年5月中旬に行われる「市民スポーツ祭総合開会式」を皮切りに、協会加盟の30競技団体が主体的に実施する「市民スポーツ祭競技大会」や、1月に行われる「焼津市駅伝競走大会」の運営をしています。

そのほか、平成25年度からは市より委託を受けた「スポーツ教室」「スポーツクラブ」事業を運営し、また、焼津市の春の恒例行事となった「焼津みなとマラソン大会・大学対抗ペアマラソン大会」においては、実行委員会の中心組織として、前日までの渉外、受付等の業務、更には大会当日の運営の中核を担っています。

まさに、市民スポーツの振興と普及に向けた各種スポーツ事業を推進しており、スポーツ都市を宣言した本市にとって重要な役割を担っています。

このように、青少年から高齢者までの幅広い年齢層の市民が、健康維持、体力・競技力の向上を図ることを目的としており、その実現のために、体育協会が行う大会の開催や練習会、指導者講習会などのスポーツ活動は重要であり、円滑に遂行されなくてはならないため、その支援をしていくとともに、協会加盟の各団体が実施する活動に対しても、ソフト・ハードの両面から充実が図れるよう引き続き連携していきます。

～第4章 基本方針・基本事業～

4-2-2 スポーツ少年団の活動支援

スポーツ少年団が実施する活動は、青少年の体力向上、競技力向上とともに次世代を担う人材を育成し、まさに人格形成につながる重要な役割を持っています。小学校区でのチーム、市全体からなるチームなど、それぞれの団に応じた支援に取り組んでいきます。

また、一定の競技にとどまらず他の競技を体験することで、子どもたちの新たな可能性を引き出せる合同体験会など、各団の交流を促進するとともに、楽しさや新たな夢、希望を育むことを目的とした事業を支援していきます。

4-3 トップアスリート顕彰

子どもから大人まで、全国レベルの競技大会などで活躍したトップアスリート、また、献身的に指導・育成に尽力された方の栄誉、功績を讃え「焼津市スポーツ賞表彰基準」に基づき表彰し顕彰しています。

特に本市にゆかりのあるオリンピックなど、世界レベルで活躍したトップアスリートは、「焼津市の宝」であり「財産」です。今後の本市スポーツ振興を更に向上させていくため、また、子どもたちが夢や希望をかなえられるよう、トップアスリートたちの活躍を多様なツールで情報発信に努めるとともに後世に伝えていきます。



4-4 スポーツ情報の充実

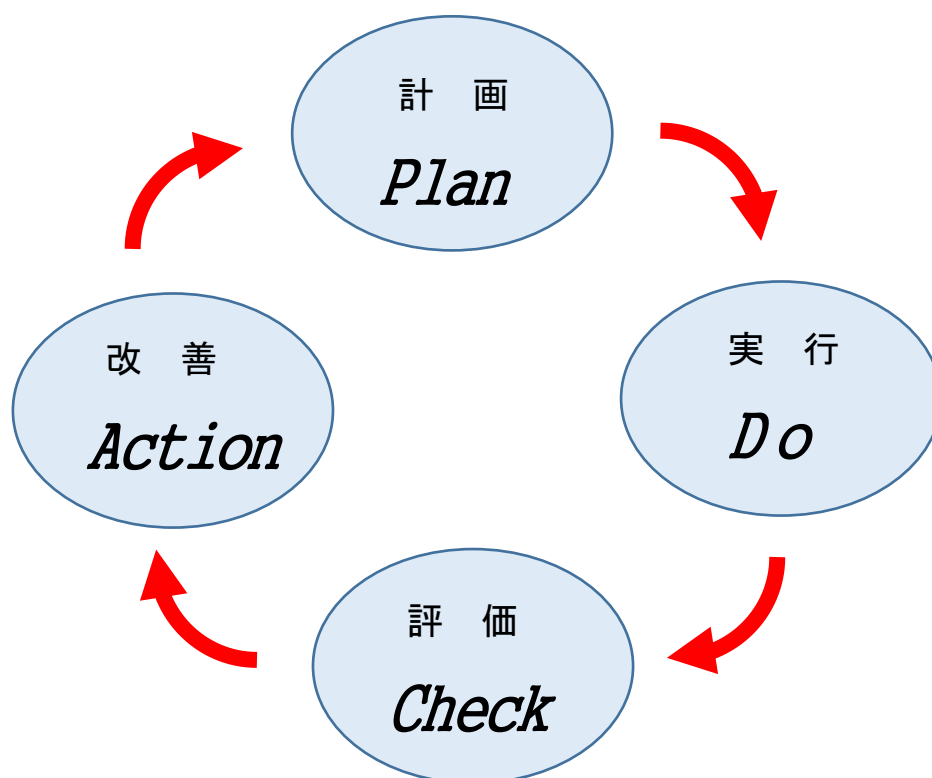
スポーツに関する情報は、選手の活躍や施設の利用など、多岐にわたり発信していくことが求められています。今後も広報紙、ホームページ、メディアを活用し情報発信に努めていくため、情報の収集、発信に向けた仕組み作りを充実し本市のスポーツ情報を広く発信していきます。

第5章 計画の進行管理

PDCA サイクルによる進行管理

本計画の進行管理においては、PDCA サイクルにより継続的に検証、見直し、評価を行います。

計画の進捗状況については、概ね5年を評価時期として、評価、見直しに関する意見を求め、評価結果を広く市民に公表するとともに、評価意見を踏まえ、見直し検討も含めた計画の進行管理を行うこととします。



焼津市スポーツ推進計画

【 資 料 編 】

1. スポーツ教室参加状況	1
2. スポーツクラブ参加状況	2
3. スポーツ少年団登録状況	2
4. スポーツ施設設置状況	3
5. 学校体育施設夜間開放利用状況	4
6. スポーツ施設機能レベル	5

1	スポーツ教室参加状況（2017年度／平成29年度）
---	---------------------------

○体操教室

教室名(コース)		定員	第1期	第2期	第3期	計
女性 体操	火曜	60/100(3期)	67	63	74	204
	水曜夜間	60			8	8
	木曜	40/100(3期)	23	25	48	96
	金曜	60	69	69	72	210
親子 体操	火曜	30/60(3期)	28	27	20	150
	水曜A	60			29	58
	水曜B	40/60(3期)	42	43	24	218
	水曜C	40/60(3期)	22	30	27	158
	木曜					
	木曜大井川	40	18	23	27	136
幼児 体操	火曜年中児	40/50(3期)	44	41	41	126
	水曜年長児	40/50(3期)	47	40	29	115
	木曜年長児	40/50(3期)	37	32	33	102
	金曜年中児	40	44	41	40	123
	土曜年中児	30	30	27	27	84
	土曜年長児	30	25	25	20	70
健康増進火曜		70	70	60	68	198
健康増進水曜		40	14	15	20	49
シニア 体操	木曜	40/70(3期)	22	21	24	67
	金曜A	30/60(3期)	39	44	66	149
	金曜B	30/60(3期)	38	42	53	133
太極拳		40			15	15
リズムフィットネス		40(3期)/70(3期)		39	38	77

○水泳教室

教室名(コース)	定員	1期	2期	3期	計
女性昼間	50	34	34	28	96
成人	50	31	25	27	83

教室名(コース)	定員	1期	2期	3期	4期	5期	計
ジュニア	100	76	94	86	88	69	413
幼児	70	26	37	36	32	27	158

2	スポーツクラブ参加状況（2017年度／平成29年度）
---	----------------------------

○サタデースポーツ(焼津体育館会場)

月 日	種 目	人 数
4月22日	フットサル	27
5月13日	ソフトバレー バドミントン	24
6月10日	フットサル	36
7月8日	ファミリーバドミントン	24
7月29日	フットサル	36
8月5日	スポレック	11
9月16日	フットサル	37
10月7日	ソフトバレー バドミントン	29
11月11日	フットサル	31
11月25日	ファミリーバドミントン	7
12月16日	フットサル	27
1月13日	スポレック	11
2月3日	フットサル	25
3月10日	ソフトバレー バドミントン	17
合 計		342

※平成29年度はメイン会場の総合体育館の大規模改修工事により、種目数を減らして実施しています。

3	スポーツ少年団登録状況（2017年度／平成29年度）
---	----------------------------

(人)

種 目	男	女	計	指導者
剣 道	32	12	44	13
空手道	116	44	160	25
柔 道	35	11	46	23
サッカー	337	11	348	88
バレーボール	32	105	137	49
野 球	223	13	236	84
テニス	35	38	73	9
ミニバスケットボール	42	32	74	23

レスリング	35	13	48	7
複 合	17	23	40	13
水 泳	25	28	53	21
ドッジボール	14	4	18	9
卓 球	7	7	14	6
計	950	341	1,291	370

4	スポーツ施設設置状況（学校体育施設を除く）
---	-----------------------

施設名		所在地	建設年月
総合グラウンド	総合体育館	保福島 1050	H3.6.
	野球場	保福島 950-1	S52.9
	陸上競技場		S54.3
	テニスコート		S54.3
焼津体育館		焼津 2-7-3	S39.12
大井川体育館		中島 1183	S61.2
青峯プール		小川 3812-10	S57.3
ディスカバリーパーク焼津 水夢館		田尻 2968-1	H9.7
漁船員テニスコート		中港 5-20	S61.9
田尻スポーツ広場		田尻 2058	S49.3
一色水道用地		一色 1043	S50.3
関方社会教育広場		関方 116	S47.12
市営相撲場		焼津 2-7-3	S56.8
飯淵グラウンド		飯淵 1183	S55
吉永自由広場		吉永 491-1	H6
藤守浜スポーツ広場		藤守 2236-1	S49
大井川河川敷 運動公園	陸上競技場	西島 538	H14
	スポーツ広場	相川・西島	S57

学 校 名	体育館		グラウンド	
	団体数	人 数	団体数	人 数
焼津東小学校	261	3,095	—	—
焼津西小学校	341	4,784	36	972
焼津南小学校	171	1,871	—	—
豊田小学校	426	4,805	52	1,940
小川小学校	374	5,255	—	—
東益津小学校	330	4,611	—	—
大富小学校	294	4,722	—	—
和田小学校	311	3,851	—	—
港小学校	348	5,575	0	0
黒石小学校	242	4,072	—	—
大井川東小学校	265	6,567	53	947
大井川西小学校	464	11,764	28	590
大井川南小学校	231	4,522	26	881
焼津中学校	478	6,953	66	3,747
大村中学校	507	6,467	31	846
豊田中学校	460	7,015	36	897
小川中学校	390	8,574	0	0
東益津中学校	400	6,832	—	—
大富中学校	452	7,176	65	3,275
和田中学校	399	6,355	—	—
港中学校	526	6,214	0	0
大井川中学校	865	13,507	132	3,346

6	スポーツ施設機能レベル（競技種目・施設別）
---	-----------------------

★屋内施設

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A		総合体育館(シーガルドーム)							
	バスケットボール	メイン3面 サブ1面	○	○	○	○	○	○	○
	バレーボール	メイン3面 サブ1面	○	○	○	○	○	○	○
	バドミントン	メイン 12 面 サブ3面	○	○	○	○	○	○	○
	レスリング	マット4面	○	○	○	○	○	○	○
	空手	マット8面	○	○	○	○	○	○	○
	剣道	8面		○	○	○	○	○	○
	太極拳	マット1面		○	○	○	○	○	○
	卓球	51 台	○	○	○	○	○	○	○
	テニス (含ソフトテニス)	メイン3面 サブ1面		○	○	○	○	○	○
	バウンドテニス	メイン 12 面 サブ3面		○	○	○	○	○	○
	軽スポーツ						○	○	○
	フットサル(興行)	メイン1面	○						
		トレーニングルーム (トレーニング機器18台)					○	○	
		ランニングコース (1周=200m)					○	○	
B		焼津体育館							
	バスケットボール	2面				○	○	○	○
	バレーボール	2面				○	○	○	○
	バドミントン	4面				○	○	○	○
	卓球	10 台				○	○	○	○
	武道全般					○	○	○	○
	相撲	1面 練習場2面			○	○	○	○	○
	軽スポーツ						○	○	○
B		大井川体育館							
	バスケットボール	1面				○	○	○	○
	バレーボール	2面				○	○	○	○
	バドミントン	6面				○	○	○	○
	卓球	15 台				○	○	○	○
	武道全般					○	○	○	○
	軽スポーツ						○	○	○

C		焼津東小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		焼津西小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		焼津南小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		豊田小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		小川小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		東益津小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大富小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		和田小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	

C		港小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		黒石小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川東小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川西小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川南小学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6人制)					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		焼津中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	卓球	卓球場 10台							
C		大村中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		豊田中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	

C		小川中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		東益津中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		港中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大富中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		和田中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川中学校体育館							
	バスケットボール	2面(ミニバス)					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	卓球	卓球場 2台							
C		大井川中学校格技場							
	柔道	1面					○	○	
	剣道	1面					○	○	
	空手	1面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		保健センター集検ホール							
	バドミントン	1面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	武道全般						○	○	

C		和田公民館大集会室							
	バスケットボール	2面					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	卓球								
C		小川公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		大富公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		大村公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		大井川公民館集会室							
	軽スポーツ						○	○	
C		港公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		東益津公民館集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		豊田公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	

★屋外施設 <野球>

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A	硬式・軟式	総合グラウンド野球場		○	○	○	○	○	○
B	軟式	飯淵グラウンド				○	○	○	○
B	A～E 少年団 F 軟式	大井川河川敷運動公園 (A. B. C. D. E. F)				○	○		○
C	硬式(中学)	一色水道用地					○		○
C	軟式(少年団)	田尻スポーツ広場				○	○	○	
C	軟式(夜間)	焼津中学校グラウンド					○	○	
C	軟式(夜間)	港中学校グラウンド					○	○	

C	軟式(少年団)	豊田小学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	港小学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	港中学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	大富小学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	石脇公園					○	○	
C	軟式(少年団)	大覚寺(西園)グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	中公園					○	○	
C	軟式(少年団)	清見田公園					○	○	
C	軟式(少年団)	小川公園					○	○	
C	軟式(少年団)	中根公園					○	○	
C	軟式(少年団)	松原公園					○	○	
C	軟式(少年団)	田尻北公園					○	○	
C	軟式(少年団)	八楠公園					○	○	

★屋外施設 <サッカー>

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
A		総合グラウンド陸上競技場(天然芝)		○	○	○	○	○	○
A	多目的 C 少年用	大井川河川敷運動公園(天然芝:陸上競技場・多目的 B、C) (クレー:サッカー場 A、B)		○	○	○	○		○
B		石津浜公園サッカー場			○	○	○	○	○
C		田尻スポーツ広場(クレー)					○	○	
C		焼津西小学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		豊田小学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		港小学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		大井川東小学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		大井川西小学校グラウンド(クレー)					○		
C		大井川南小学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		焼津中学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		大村中学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		港中学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		大井川中学校グラウンド(クレー)					○	○	

C		田尻北公園(クレー)						○		
C		小川公園(クレー)						○	○	
C		中根公園(クレー)						○	○	
C		河原富士見公園(クレー)						○		
C		大覚寺公園(西園)(クレー)						○	○	
C		八楠公園(クレー)						○		
C	ミニサッカー	松原公園(クレー)						○		
C	ミニサッカー	元焼津公園(クレー)						○		
C	ミニサッカー	瀬戸川緑地公園(クレー)						○		
C	ミニサッカー	縦小路公園(クレー)						○		
C	ミニサッカー	石津中央公園(クレー)						○		
C	ミニサッカー	清見田公園(クレー)						○		

★屋外施設 <陸上競技>

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A	トラック・フィールド	総合グラウンド陸上競技場(日本陸連公認:4種)		○	○	○	○	○	○
A	マラソン	マラソンコースリバティ		○	○	○	○	○	○
B	トラック・フィールド	大井川河川敷運動公園陸上競技場				○	○		○

★屋外施設 <テニス>

A	硬式・軟式	漁船員テニス場(オムニ)			○	○	○	○	○
B	硬式・軟式	総合グラウンドテニス場(オムニ・クレー)				○	○	○	○

★屋外施設 <プール>

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A	競泳	ディスカバリーパーク焼津水夢館(日本水連公認:短水路)		○	○	○	○	○	○
B	遊戯	青峯プール					○		

★屋外施設 <グラウンドゴルフ>

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
A		総合グラウンド陸上競技場 (天然芝)		○	○	○	○	○	○
A		大井川河川敷運動公園 (天然芝:陸上競技場・多目的 B、C) (クレー:サッカー場 A、B)		○	○	○	○		○
B		石津浜パノラマグラウンド				○	○		
B		田尻スポーツ広場				○	○	○	
B		一色水道用地				○	○	○	
C		藤守浜スポーツ広場					○		
C		関方社会教育広場					○		
C		石津浜公園サッカー場					○	○	
C		田尻北公園					○		
C		小川公園					○	○	
C		中根公園					○	○	
C		河原富士見公園					○		
C		大覚寺公園(西園)					○	○	

★屋外施設 <ソフトボール>

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
B		大井川河川敷運動公園 (A. B. C. D. E. F)			○	○	○		○
B		一色水道用地				○	○		
B		田尻スポーツ広場				○	○	○	○
B		飯淵グラウンド				○	○	○	○
C		焼津西小学校グラウンド					○	○	
C		豊田小学校グラウンド					○	○	
C		港小学校グラウンド					○	○	
C		大井川西小学校グラウンド					○	○	
C		焼津中学校グラウンド					○	○	
C		大村中学校グラウンド					○	○	
C		豊田中学校グラウンド					○	○	

C		小川中学校グラウンド					○	○	
C		大富中学校グラウンド					○	○	
C		港中学校グラウンド					○	○	
C		大井川中学校グラウンド					○	○	
C		石脇公園					○	○	
C		大覚寺公園(西園)					○	○	
C		中公園					○	○	
C		清見田公園					○		
C		小川公園					○	○	
C		中根公園					○	○	
C		松原公園					○		
C		田尻北公園					○		
C		八楠公園					○		
C		縦小路公園					○		
C		河原富士見公園					○		

焼津市スポーツ推進計画

発行日 平成 31 年 3 月

発 行 焼津市

編 集 焼津市スポーツ課

静岡県焼津市本町二丁目 16 番 32 号

TEL 054-626-9413 FAX 054-626-2188

ホームページ <https://www.city.yaizu.lg.jp>
